普通科　人文社会科学135班

Let‘s　ミヤタビ

班員　甲斐真心　川﨑真架　川畑柚奈　　指導者 舟津賢一先生

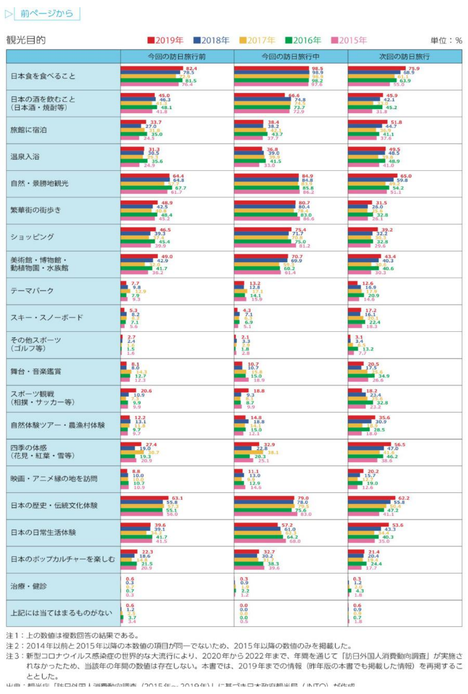
研究の動機

他県に比べて、宮崎県に外国人観光客が少ないことに気づき、宮崎県をもっと活性化させて、観光客を増やしたいと思ったから。

先行研究

平成28年　12月発行
日本政府観光局(JNTO)より
外国人観光客は主にSNSで情報を得ている。

日本の自然環境や入浴施設など実際に体験できるアクティビティに足を運ぶ傾向があり、体験を通して関連商品を買ってもらうよう、体験と消費を関連づける工夫が必要である。
また、旅行会社の受け入れ環境も必要となっている。グローバル化が進む今、多言語対応の地図やカード決済を行えるようにする工夫も。



研究方法

①. データから宮崎県の外国人観光客傾向を調べ、大まかな特徴を知る
(外国人の傾向・好むもの・目的など)
②. 延岡市内の観光に特化している方々のお話を聞き、1で分かったことと比較する
③. 1・2全てを分析し、宮崎県北部の旅行プランを考案する

仮説

先行研究から、日本ならではの魅力を生かした観光地や自分たちの分析で分かった外国人の傾向に合ったフードや宿泊施設などを生かした旅行プランを考案することにより、今後、外国人受け入れ規制が緩和した際にこのプランを見て実際に宮崎県に足を運んで貰えるのではないかと考える。

参考文献

日本政府観光局
https://action.jnto.go.jp/casestudy/101
延岡市役所観光戦略課
https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/41/
宮崎県観光入込客統計調査
https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kanko-suishin/kanko/miryoku/20210114182603.html

謝礼

延岡観光協会　岩本様
宮崎観光協会　鷹取様
高千穂ムラたび代表　飯干様

研究内容

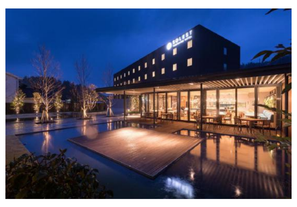
●延岡市観光協会
ターゲット:香港、台湾
これからの課題:他の地域との連携、協力

●宮崎市観光協会
ターゲット:韓国、台湾、香港
課題:県内での滞在時間の延伸、魅力ある体験型メニューづくり、ニーズに対応した人材育成、スポーツキャンプの通年化、リピーターの確保、受入環境の整備、二次交通アクセスの改善

●私たち
ターゲット:日本の食に興味のあるイギリス人
旅行プラン:3泊4日
目的:外国人が訪日した際に少しでも宮崎に関わっていただくため

○1日目 羽田空港——→熊本空港——→jネットレンタカー(乗り捨て)
7:15　9:10　10:00
——→あそ望の郷くぎの——→高千穂——→
(15分)　11:30

ともえまる食堂(高千穂)——→高千穂峡——→ソレスト高千穂——→ 夜神楽
13:30　13:35　16:30　8:00



○2日目 ソレスト——→延岡——→カヌー体験——→北川はゆま——→
9:30　10:10　10:30　13:30

佐藤焼酎——→エンシティホテル
14:30　16:10

○3日目
エンシティホテル——→クルスの海——→自由時間——→エンシティホテル
9:45　10:20　18:00

○4日目
エンシティホテル出発——→宮崎空港——→羽田空港
9:40　11:00　12:40

～研究を通して～
このプランをたくさんの方に知ってもらい、宮崎県に外国人観光客が増えて、宮崎県がより活性化されることを願っています。